

# 長野南・松代の統合について

提出者

長野県長野南高等学校の存続を願う会

## 長野南と松代の統合について

どちらかに統合となった場合、統合とは言ってもA校+B校=C校であるならば、新設校が開設され、実質2校が廃校である。

また、県教委案では統合で跡地を利用しない高校の生徒が居なくなつてからの統合。つまり最初は全学年居るが、最終年度は1学年(3年生)しかおらず、学習・クラブ活動等、県教委は責任を持つとは言っているが、バスを運行させたとしても、とても補えるものではないことは、下記の距離を見ても明らかである。

### 高校間距離

長野南と松代の直線距離 5.6km

因みに須坂駅を基本とした須坂地区各高校との直線距離

須坂：0.87km 須坂商：0.38km 須坂園芸：0.38km

須坂東：1.23km

議論が活発に成るように、提案させていただきます。

先ず、議論の優先順位として長野南と松代の統合の前に須坂の4校の整備を検討するのが先決であり、将来的には旧4区内の統合はあるにしろ、時期尚早である。

## 理由①高校数と人口の割合

### H17.4 現在各地区の人口に対する高校数状況

	須坂市	更北・川中島地区	篠ノ井地区	松代地区	千曲市	坂城町
人口	53,871	57,579	41,117	19,824	64,594	16,775
学校数(H17)	4	1	2	1	2	1
人口/学校数	13,468	57,579	20,559	19,824	32,274	16,775

②須坂地区は統合する場合、高校が近接しており、現実的である。

高校間距離

長野南と松代の直線距離 5.6km

因みに須坂駅を基本とした須坂地区各高校との直線距離

須坂：0.87km 須坂商：0.38km 須坂園芸：0.38km 須坂東：1.23km

③15歳人口の減少も4区より激しい

第2区15歳人口増減数と増減率（提供：長野市教委 H17.4.1 資料から）

	平成17年度	平成31年度	増減	増減率
須坂市	576	461	▲115	80.03%
旧中野市	477	404	▲73	84.70%
小布施町	122	108	▲14	88.52%
高山村	112	63	▲49	56.25%
山ノ内町	144	105	▲39	72.92%
2区全体	1431	1141	▲290	79.73%

④15歳人口に対する高校数の格差

H17.4 現在 2～4区15歳人口に対する高校数状況

		2区	3区	4区
		山之内中野須坂	長野北部	犀南～坂城
平成17年		1,431	2,897	2,182
平成31年		1,141	2,682	1,838
増減		▲290	▲215	▲344
減少率		79.73%	92.58%	84.23%
県立高校数		7	9	7
改革案高校数		6	9	5
H31 生徒／ 高校		190人に1校	298人に1校	368人に1校
参考	市・私立		5	1
	高専		1	

旧4区につきましては、高校の選択の際、長年調整区とされてきた経緯も踏まえ、下記の事を訴えたい。

- ・旧4区に学校が無いから流出しているのではないのか！
- ・旧4区に学校を作るならまだしも、普通校2校廃校？  
(長野南 or 松代・坂城 or 屋代南？)